

現千葉県議会議員



福祉1

高齢者福祉

岡村やすあき



人々が共に助け合い、支え合う連帯社会をつくるように努めます。

「高齢化社会」への対策

少子高齢化が、急速に進展してきました。高齢化が進む主な要因として、「公衆衛生の向上、医学の進歩、医療保険制度・サービスの普及等による死亡率の低下」と「出生率の低下」の二点が挙げられます。

千葉県の高齢者福祉課では、「二〇二〇―二〇一五年までの高齢者人口の増加率は、全国二番目の伸び率が見込まれる」と急速な高齢化の進展を予測しています。

また、県の「県政に関する世論調査」では、高齢化対策が十二年連続で一位です。少子化対策も上位です。県民の要望からみても、少子高齢化対策がいかに重要な問題であるかが分かります。

高齢者の生活問題とニーズは、大きく分けて「健康・介護・経済・住まい・生きがい」の五つの側面があり、家族・地域住民・専門職が本人の意志と必要に応じて、どうサポートできるかが、福祉の課題です。

高齢者の割合が多くなれば、介護・療養を必要とする層も増え、医療・保健・福祉の支援やケアを受けながらの生活・療養の場が、いっそう多く求められます。

また、年金・医療・福祉にかかる社会保険料の負担も増大してきます。



六十五才以上の高齢者が、健康を維持し、介護なしで、自立して暮らせる制度をつくることも、また重要な課題です。健康を維持するためには、「高齢者の健康づくり」の対策が必要になってきます。

介護では、「地域福祉の充実」が重要視されてきています。これは、病院や施設に入院・入所している高齢者を施設等から退院・退所させるということではなく、家庭や地域がそれらの施設を支える仕組みづくりの充実を、目的としています。

高齢者が安心して普通の暮らしをすることが出来るためには、健康、福祉、医療が連携した総合的な体制を確立し、その制度の充実と拡充を強力に推し進めていかなければなりません。

私は、「高齢者福祉」の施策として、次の二点の実現を図っていきます。

一、高齢期は、「第二の現役時代」とも言われます。このような高齢期を、積極的に充実したものにしなければなりません。そのため、高齢者の生きがい充実と高齢者の地域活動や社会参加を促進することを目的とした事業を推進します。

また、老人のクラブ・サークルやシルバー人材センター等への財政的支援に積極的に取り組めます。

二、明るい活力ある長寿社会の建設を目指し、「高齢者の健康づくり」の施策を推進します。

そのために、高齢者の健康管理と増進のための保健活動、体力に応じたスポーツ・レクの開発や場の提供等に積極的に取り組みます。

健康・福祉・医療に関する重点目標

- ・ 保健福祉施設の整備促進や訪問介護、ショートステイ、ディサービスの充実など在宅介護支援の施策の充実等により、高齢者の福祉の充実を推進します。
- ・ 高齢者や障害者が住み慣れたところで、普通に暮らせる施策を推進します。
- ・ 「ねたきりゼロ」を目指して、健康・福祉・医療が連携した総合的な体制を確立します。
- ・ 医療体制の整備と充実と努めると共に、乳幼児医療費助成の拡大に取り組めます。
- ・ 子育て支援・保育関係施策の充実と推進を図ります。

